

研究名：当センターにおける早産・低出生体重児に対する早期リハビリテーションの取り組みと今後の課題

1.研究の目的

周産期における救命率が上昇するなかで、同時に発達遅滞や障害が生じるリスクが指摘されています。当センターリハビリテーション科では、早産・低出生体重児が独歩を獲得するまでの期間、運動発達面での経過観察や支援を行なっています。その経過の中で、今後も継続した支援が必要な患者様については地域資源への移行をすすめています。その予後や現状について調査することで、より適切な支援体制の確立を目指すことを目的としています。

2.研究の方法

1. **対象**：2018年1月1日～2020年12月31日に出生し、当センター新生児集中治療室(neonatal intensive care unit;NICU)に入室した早産・低出生体重児77例。
2. **期間**：倫理審査委員会承認後～2022年8月末
3. **方法**：対象となる患者様の診療録からデータを抽出し、発達経過と支援先、就学までの支援状況と予後を調査する。

3.研究に用いる情報の種類

出生歴、発達歴、支援状況、新生児科およびリハビリテーション科診療録 等

*** 患者様の氏名など、本人を特定できる一切の個人情報**は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4.情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5.研究実施機関

国立成育医療研究センター

6.お問い合わせ

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望がございましたら、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障のない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することが可能ですのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年6月頃までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合についても、患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否される場合の連絡先：

国立成育医療研究センター リハビリテーション科 井上彩

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

電話：03-3416-0181 (内線：2811)

研究責任者：

国立成育医療研究センター リハビリテーション科 井上彩